

『教育新時代』伊勢崎学校教育構想2017について ～新しい時代の新たな教育の始まりとして、これからの10年を見据えた構想～

教育部学校教育課

平成17年1月1日に旧伊勢崎市、赤堀町、東村、境町の4市町村が合併以来、これまで新市の学校教育の一体化を目指した教育を推進してきました。それから十余年が経過し、平成29年4月1日から、本市教育委員会は、新制度による教育委員会に変わり、新しい時代の新たな教育の始まりとして、3つの学校教育プランを柱とした、これからの10年を見据えた構想を策定しました。

この構想をまとめたリーフレット（別紙）は、市内の全学校・全幼稚園に通うお子さんがいる家庭に配布し、学校、家庭、地域で一体となった教育活動に取り組んでいきます。

記

1 3つの学校教育プラン

- 「21世紀型学力向上プラン」
 - ・「分かる喜び」「できる楽しさ」を大切に、自ら考え表現する授業
 - ・英語教育重点校2校における小学校英語週2コマの導入
- 「市民性育成プラン」
 - ・よりよく生活していく意欲と実行力の育成
 - ・豊かな心で人と進んで関わる意欲や態度の育成
- 「地域と世界をつなぐ人材育成プラン」
 - ・本市が誇る世界遺産や伝統・歴史・文化・産業・史跡などを学ぶ
 - ・学んだことを人のために、社会のために生かそうとする市民としての志を育成



2 中学校区を中心とした地域全体で子供の成長を支える

- ・3つのプランを柱として、各学校がカリキュラム・マネジメントを発揮し、学校、家庭、地域が同じ目標をもって、中学校区を中心とした地域全体で子供の成長を支える仕組みをつくります。
- ・伊勢崎市の子供たちが、ふるさと伊勢崎の伝統文化歴史に誇りを持ち、グローバルな広い視野と高い志を持ち、よりよい未来を歩むことができるような教育を推進していきます。